平成27年度学校経営計画表

学校の現況

1 V 1													
学校番号	3 2	学校名	県立ス	大洗高等	学校	課程	全	日制	学校長	名	澤火	田保	男
教頭名	小 沼 津	告 幸							事務(室長名	图)	片月	見 祐 言	ī
教職員数	教諭 28	養護教諭	1 7	常勤 :	2 非常講	勤 5	実習教諭, 第 師, 実習助	実習講 1 計手	事務職員	2 1	支術 職員等	2 計	4 1
生徒数	小学科	1	年		年	0	丰	•	年	合	計	合計クラ	ラス数
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	普通科	3 5	2 1	2 3	2 5	1 9	2 2			7 7	6 8	6	
	普通科(音楽コース)	1 2	1 8	8	1 6	9	1 2			2 9	4 6	3	

生徒一人一人の自主・自立の精神を確立し、社会人として必要な知識と教養を習得し、地域社会の要望に応えられる豊かな人間性と人格の形成を目指す。 現状分析と課題(数量的な分析を含む。)

<u> </u>	川と誅越(剱里町な分別を百む。)	
項目	現り、状の分の析	課題
学習指導	生徒は、全体的に落ち着いて授業に臨み、学習活動に取り組んでいる。	生徒の実態を継続して、 進速を指導人を を継続して工夫と では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
	り組んでいる。 組んでいる。 26年度には,国立教育政策研究所の委嘱を受け,改善 三語活動を行ための研究を行い。 東京の大学習情標を実現するための 大学の目標を実現するための手立てとして, 言語活動を充実させることに取り組ん	一人の学習意欲の向上や基礎学力の確実な定着を図る必要がある。
	めの手 払 (と し (,	現在行っている少人数授業の指導形態など
	でいる。 音楽コースでは、全国募集により学習意欲等の高い生徒 が入学してきている。	
進路指導		生徒が早期に進路目標を明確に持ち、進路 実現を意識した学校生活を送れるよう、三年間を通したキャリア教育の充実を図るととも
	体 系 的 , 計 画 的 に キ ャ リ ア 教 育 を 推 進 す る と と も に , 求 人	選三との 主 出
	体系的, 計画的にキャリア教育を推進するとともに、	に、生徒の基礎学力の定着や面接指導等の充実を図る必要がある。 世学希望者の進路目標実現、特に国公立大学の合格者を継続して出せる指導体制を構
-/T - 7.E - EL 7.E -	必要がある。 進学に関しては、推薦入試、AO入試での合格者が大半である。	学への合格者を継続して出せる指導体制を構築することが課題である。 基本的な生活習慣を確立させ、規範意識の
生徒指導	生徒は落ち着いた生活を送っている。生徒理解をより深めために、全教職員で取り組む指導・支援の充実を図っ	基本的な生活習慣を確立させ、規範意識の高揚や公共マナーの向上を図る一体となって根も、共通理解の下、教職員が一体となって根気強く指導・大援を続けるといる。
	ている。 様々な取組の工夫により、欠席や遅刻が激減した。 基本的な生活習慣に関する指導や生徒の悩みを受け止め るための支援方法及び体制を確立させる取組を推進してい	高・大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、
	l A	集
特別活動	学校行事,ボランティア活動など様々な活動に対して, 生徒会を中心に,生徒が主体的に取り組んでいる。	第1字年年徒の部活動刑人のための指導方
	マーチングバンド部は 全国大会等において優秀賞を受	法・方容の改善等によりが活動加入率を増加させるなどし、よりの生徒が充実した学校生活を送ることが課題である。
	賞するなど、地域社会で広く学習成果を発表し積極的な活動を展開している。 普通科の生徒の部活動加入率がやや低い。	古性化を図ることが課題である。

中期的目標 4

5

- 基本的生活習慣の確立及び規範意識の高揚を図る。 学習意欲を高め、基礎学力の定着を図る。 生徒一人一人の資質・特性にあったキャリア教育を推進する。
- 4 特別活動, 部活動の充実を図る。 5 地域との連携を深め, 地域に開かれた学校づくりを推進する。 6 学校の実情, 生徒の実態に応じた指導体制の構築を図る。 本年度の重点目標

<u> 平 中 及 ワ 里 ホ 日 际 </u>	
重点項目	重点目標
1 基本的生活習慣の確立及	①規則正しい生活習慣を確立させ、高校生らしい服装・頭髪、身だしなみを身に付け
び規範意識の高揚を図る。	してきせる。
	②奉仕活動や清美活動に積極的に参加する態度を養い, 勤労の心を育てる。
	③基礎的・基本的内容を重視した教科指導の充実を図り、基礎学力の向上・定着に努
力の定着を図る。	│ める。習熟度別少人数授業、ティーム・ティーチング等を積極的に取り入れ、さら
	に言語活動の充実を図り、生徒の思考力・判断力・表現力を育てる。
	④生徒の実態に応じた指導内容の検討や副教材を精選し,生徒の学習意欲を引き出す。
	⑤大洗検定の充実を図り,一般常識及び基礎学力を定着させる。
3 生徒一人一人の資質・特	⑥進路室の効果的な利用を促進するとともに「進路だより」を発行し、生徒及び保護
性にあったキャリア教育を	
推進する。	⑦早期に進路目標を明確にさせるとともに、生徒一人一人の希望に応じた的確な進路
	指導の充実に努める。
	⑧個人面談やガイダンスを計画的に実施するとともに、生徒個々の進路目標実現に向
	けた指導力の向上に努める。
	⑨部活動への加入率を高め、主体的に活動できる生徒を育成し、学校生活の活性化を
を図る。	図る。
	⑩生徒会活動や学校行事, ホームルーム活動の充実を図り, 社会性や人間性を養う。
	⑪学校に関する様々な情報を「学校だより」、「学年だより」、ホームページ等により
かれた学校づくりを推進す	
る。	⑫広報広聴部が主体となり、学校評議員や地域住民からの意見を聴取し、適切な対応
	を行い、地域に密着した学校づくりの一層の推進を図る。
	③学校行事への住民参加及び地域行事・活動等への教職員、生徒の参加を推進し、地
	域との連携体制を構築する。
	⑭授業公開や授業研究,教職員研修を積極的に行い,質の高い教育の提供を目指す。
に応じた授業の指導体制の	
構築を図る。	⑮ 教職員が積極的に学校運営に参加できる体制を構築し、活力ある学校づくりを目指
	<u> す。</u>